

# エコスクールの活用に係る事例集（仮称）案（概要）

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議 環境教育に活用できる学校施設検討部会 令和2年3月

文部科学省では「環境教育に活用できる学校施設検討部会」（部会長：長澤 悟 東洋大学名誉教授）を設置し、エコスクールを継続的に活用するための具体的な取組を収集し、全ての学校においてエコスクールづくりが推進され、継続的に活用される参考となるよう、事例集としてまとめた。

## 第1章 エコスクールについて

### 1. エコスクールを取り巻く状況

- (1) 地球温暖化への対応・・・地球温暖化による影響、我が国の地球温暖化対策
- (2) 環境教育・ESDを巡る状況・・・環境教育の推進、ESDの実践とSDGsの達成への貢献

### 2. エコスクールの推進

- (1) エコスクールづくり・・・エコスクールとは
- (2) エコスクールの推進に関する取組
- (3) 昨今の学校施設を取り巻く状況の変化を踏まえた主な留意点
  - ・・・適切な室内環境の確保、防災機能としての活用

### 3. エコスクールの活用

- (1) 活用状況
- (2) 継続的な活用のポイント

#### 施設面



良好な室内環境の実現とエコスクールとしての使い方を見据えた計画の作成

- ・周辺環境を活かして、自然を取り入れた学校づくり
- ・エコ改修の可視化など校舎を環境教育の教材に
- ・地域住民や専門家と連携して使い方を見据えた計画

#### 運営面



エコスクールの機能を活かす運用と継承のためのマニュアルづくり

- ・専門家による説明会の開催
- ・マニュアルの作成と定期的な見直し
- ・児童生徒や地域住民と一緒に学びながら管理

#### 教育面



エコスクールを活用した環境教育の継続的な実施と教育プログラムの蓄積

- ・学校施設や周辺環境を教材とした出前授業
- ・地域住民の参加による環境教育
- ・教育プログラムの引継ぎと改善の仕組みづくり



図1 エコスクールを継続的に活用するためのポイント

- ☑ 計画段階から使い方を考慮した施設を整備し、施設の使い方のマニュアルや教育プログラム等の作成・活用状況の蓄積・引継ぎ・見直し等を行うとともに、地域住民や外部の専門家の協力を得ながら適切な運営を行うことが重要
- ☑ 1つの視点に限らず、3つの視点を組み合わせながら取り組むことが有効

## 第2章 エコスクールの活用事例

エコスクールを継続的に活用する具体的な取組について、14事例を紹介（うち2事例を以下に抜粋）。

### 事例03 東京都江戸川区立 篠崎第三小学校



「環境サイン」と親水緑道を活かした地域連携による環境教育

エコスクールの施設・設備を解説した「環境サイン」を校内各所に設置し、省エネ・木材利用等の環境に配慮して整備した校舎について、児童に分かりやすく見せる工夫をしている。また、隣接する篠田堀親水緑道を使い、自然との調和や環境への意識を醸成する教育を、専門家も参加しながら実施している。



篠田堀親水緑道での活動

### 事例06 愛知県豊田市立 土橋小学校



エコ改修と環境教育が連動した「ハイブリッド・エコスクール」

設計段階から、校舎を活用した環境教育の実践プログラムを策定し、エコ改修と環境教育を連動させたエコスクール。エコ改修校舎を新入生や地域住民に案内する「エコガイド」する言語活動を通して児童の思考力・判断力・表現力等を育成し、地域住民も含めた環境への意識を醸成している。



断熱材についてエコガイド

#### <エコスクールの主な整備内容>

- ☀️: 太陽光発電
- 🌞: 太陽熱利用
- 🌿: 自然共生
- 🌳: 木材利用
- 🔌: その他新エネルギー活用
- 💧: 省エネルギー・省資源
- ♻️: 資源リサイクル
- 🌬️: その他（自然採光・自然換気）